

キャンプファイヤー ～火を見つめながら思い出に残るひとときを～

- <活動費> 5,000円
- <活動時間> 1時間程度（内容により時間が変わります）
- <活動場所> グラウンド
- <団体が用意するもの> BGM 用音源、懐中電灯、軍手
- <活動の流れ> 別紙参照

<引率者の役割>

事前に・・・指導員と打合せを行い、井桁を組む時間やトーチの本数を決める

活動前・・・当日 準備

活動中・・・参加者の安全管理

火の粉が周囲に燃え広がらないように見守る

万が一周囲に火が移った場合、消火する

活動後・・・火が消えるまで見守る

風が強い時は、水をかけ消火してください

翌朝、トタン板や灰などを一輪車で運び、後片付けをする

<その他>

- ・活動中は指導員の立ち合いはありません。
- ・入浴時間が決められていますので、全体の時間を調整してください
- ・風の強い日の実施については、職員に相談してください
- ・事前に井桁を組む係りを4～5人決めておくとスムーズに準備ができます

キャンプファイヤーについて



白山青年の家【2025.6 版】

★ファイヤーブロックで使う材料

白山塾の前から広場中央に持ってくるもの。
(トタン板2枚、薪10本、木端適当な本数)

★ブロックの準備手順及び点火の方法

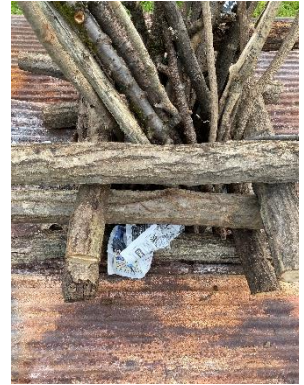
※16:00 頃から①～④を職員と団体の係で準備（確認）

- ①トタン板を敷く。
※場所は特に決まっていない。(できるだけ広場中央)
- ②薪10本を井型に5段に組む。
- ③木端を井型の中に入れる。
- ④新聞紙を下に入れる。
- ⑤始める前に消火用バケツに水を入れて近くに置いておく。
- ⑥始める30分程前にトーチと新聞紙に灯油をかける。
- ⑦活動の流れは団体で準備。(職員の立ち合いはありません)

※火の神（女神）の衣装が必要な場合は貸出可（倉庫1）

- ⑧トーチの火は新聞紙につけて点火する。
- ⑨トーチで火をつけたら、
炎が大きくなる前にトーチを中に入れて燃やす。

※事前に必要なトーチの数をお知らせください。



※①②③④



★活動時の注意事項

- ・火に近づきすぎない。
- ・火の粉が飛んで来たらそちら側を開ける。
- ・火の粉が周囲に燃え広がらないように見守る。万が一火が周囲に移ったら消火する。

★片付け

- ・基本は放置し、自然に消えるようにする。
- ・遅くまで燃えているようなら、宿直に申し出て消してもらう。
- ・風が強い時は、水をかけて消火する。
- ・翌朝、燃えかすや灰をトタン板または一輪車に乗せて
野外炊飯舎奥のドラム缶に捨てる。



★その他

- ・入浴時間が決められているので、全体の時間を調整してください。(1時間程度)
- ・始める際に風が強まった場合は万が一に備え、宿直に申し出て活動を変更してください。

以上、分からないことがあれば、職員にお申し出下さい。

⑥灯油は青年の家玄関入口